

2022 年度版

## 外国語学科 総合型選抜入試課題

次の課題の中から志望するコース課題を選び、指示に従って答えなさい。それぞれ指定されている解答用紙を使って提出しなさい。

外国語学科 外国語コミュニケーションコース（英語主専攻）

次の文を読んで質問 1～4 に英語で答えなさい。

**Discrimination and Language**

Discrimination takes on many forms and permeates all world societies. Humanity is benefited greatly by its efforts to end all discrimination. The *politically correct* or “PC” movement was created out of an effort to end discrimination in language through the use of gender-neutral vocabulary. Political Correctness or “PC” is a term created from a social movement to minimize offence in language based on race, gender, ethnicity, age, and ability.

Male dominance over women is shown in language. English pronouns and other set phrases are examples of the sexist use of language. For example: *A student who passes the final will get a passing grade, won't **he**?* *If a person hits you, you have a right to hit **him** back.*, *Any person who speaks **his** mind about the government could get in trouble.* The pronouns *he*, *him*, and *his* are often used even when both men and women are being implied. However, the use of these masculine pronouns makes women invisible. The invisibility of women is also fostered by words like *mankind* and *chairman* and *fireman*, such other terms that refer to humans generally with words with male referents. Those making an effort to sound “PC” might say *humankind*, or *chairperson* or *firefighter*. In using male-oriented terms, not only are females treated as invisible, males are seen as being the normative gender. Vocabulary that existed in both feminine and masculine form such as *waiter* and *waitress*, *steward* and *stewardess* have been changed to genderless forms such as *server* and *flight attendant* to be inclusive to both genders.

There are numerous other ways in which male dominance is codified in language. The PC language movement is an effort to raise awareness of discrimination and sexism in language.

## 外国語学科外国語コミュニケーションコース(中国語専攻)

以下の新聞記事を読んで、問題に答えてください。

### 中国も働き方改革？ 春節休み拡大・「GW」新設 全人代で提案

中国で開かれている全国人民代表大会(全人代、国会に相当)で「休日をもっと増やすべきだ」という提案が次々に出されている。高い経済成長が続くなかで人々の労働時間も長くなり、過労死が社会問題になっているからだ。家族との時間や余暇を大切にすべきだとの声が強まっている。

中国メディアによると、江蘇省の代表の一人が全人代で、現在は7日間の春節(旧正月)休暇を10日間に、4月に3日間ある清明節の休暇を7日間に、それぞれ延ばすべきだとの意見を出した。

大都市で働く人々は連休に帰省することも多い。広い中国では往復だけで数日かかる場合もあり、現状では「家族の絆を深められない」と訴えている。

広東省の代表は、5月1日を中心とした「ゴールデンウィーク」の新設を提案。江蘇省の別の代表は、平日を1日半日休にする週休2・5日を提唱した。

年間労働時間は経済協力開発機構(OECD)諸国の平均や日本は1700時間程度。これに対し、中国の研究者らは、国の統計などから中国は2千～2200時間に上るとしている。

国営中国中央テレビの調査では、1日の睡眠以外の余暇時間の平均も3時間未満で、欧米諸国の半分ほどになっている。

去年は金融やIT業界などで30～40代の過労死が相次ぎ、メディアにとりあげられた。午前9時から午後9時まで週6日間働く「996」という言葉も生まれ、長時間労働が問題となっている。(北京＝平井良和)

(朝日新聞夕刊 2019年3月12日)

### 問題

現代中国社会における働き方について、どのような課題が指摘されていますか。また、それらの課題を解決するためにはどのようにすべきだとあなたは思いますか。あわせて800字程度で書いてください。

## 外国語学科 国際交流コース

次の文を参考にして、質問(1)、(2)に答えなさい。

- (1) 児童労働をなくさなければならないのはどうしてだと思いますか。あなたの考えを 600 字程度で書いてください。
- (2) 児童労働がなくなる理由の一つとして、「古くからの習慣」があるからと言っていますが、それはどんなことだと思いますか。あなたの考えを 600 字程度で書いてください。

### 児童労働

国際労働機関 (ILO) と国連児童基金 (UNICEF) が公表している「児童労働の現状」によると、2016 年時点で労働に従事している 5 歳から 17 歳の子どもは世界に 1 億 5,200 万人もいる。これは、世界の 5 歳から 17 歳の子どものうち 10 人に 1 人が児童労働に従事していることになる。国連子どもの権利条約、ILO 最低就労年齢条約第 138 条によると、手伝い等ある種の仕事は子どもの成長にプラスになり、軽作業は子どもたちの就学に支障をきたさず、規則に則った状況下であれば 13 歳以上の子どもたち（途上国では 12 歳以上）には労働が認められている。では、児童労働とはどんな労働のことなのだろうか。児童労働とは、法律で定められた就業最低年齢を下回る年齢の児童によって行われる労働のことであり、子どもたちの就学に支障をきたしたり、肉体的、精神的、社会的、道徳的な安定を崩したり、危険を与えたりする状況を招くような労働のことを指す。多くの子どもたちが児童労働に従事する原因の一つが貧困である。また、児童労働を当然だと考える古くからの習慣や子どもたちを守る法律が整備されていないことがその原因である。児童労働が子どもたちに与える影響は大きい。子どもたちは労働に就くことによって学校へ通えなくなるばかりでなく、身体的にも精神的にも健康を損ない、搾取や暴力、犯罪等に巻き込まれるリスクにも晒されている。世界で最も児童労働の状況が深刻であるサブサハラアフリカでは、4 人に 1 人の子どもが児童労働に従事している。例えば、チョコレートの原料であるカカオの産地であるガーナでは、カカオ生産に従事する子どもが 77 万人いるといわれている。そのようなガーナで、児童労働の撲滅を目指し活動を行っている NGO、ACE 事務局長白木朋子氏によると、「児童労働をしている子どもたちは、自分の家庭環境によって教育を受けることができない、自分はそれでしかたがないと思い込んでいます。家族を支え、生き延びるために働かざるを得ないと、ある意味受け入れて、精一杯生きているという状態なんです」と述べている。児童労働をなくすためには、住民だけでなく、学校や行政等地域全体で解決を目指すことが重要であると考え、外部からの支援に依存するのではなく地元の人たちが協力して子どもたちを守る仕組みを作ろうと考えた。そして白木氏は、児童労働に従事する子ど

もがいなを地域住民が見回りをし、学校に行っていない子どもがいた場合には家庭訪問をして、家族と話し合い、子どもを学校へ通わせるよう働きかけると同時に、校長先生にも相談をして、問題をどう解決できるかを一緒に考える仕組みを構築した。これらの取り組みによって、10 の村で500 人以上の子どもたちが学校に通えるようになり、住民と学校との信頼関係もできて、住民の意識も大きく変わったという。

#### 参考文献

Child Labor: Global estimates 2020, trends and the road forward, ILO and UNICEF, 2021

WORLD WATCHING, <https://www.nhk.jp>, 2020.07